

発行者／伊賀市立上野総合市民病院

三重県伊賀市四十九町831番地 TEL. 0595-24-1111(代表) FAX. 0595-24-2268

<https://www.cgh-iga.jp/>

上野総合市民病院

検索

ご自由に
お持ち帰りください

『レジナビフェア 2023 in 大阪』への出展について

7月2日(日)にインテックス大阪で開催されたレジナビフェアに出展しました。

レジナビの正式名称は民間医局レジナビといいます。医学生や研修医の病院探しをサポートするサービスで、医学生や研修医、全国の多くの病院が活用しています。

レジナビフェアとは、約850の病院が参加する日本最大規模の研修病院合同説明会のことで、東京や大阪をはじめ全国7カ所で開催されます。全国各地の臨床研修病院が出展しますので、多くの病院の情報が一度にチェックできます。

医学部を卒業して医師国家試験に合格した医師は、2年間の臨床研修を行う必要があります。この合同説明会は臨床研修を行う病院を選択するにあたって、各病院の情報を得る貴重な機会となるため、多くの医学生や研修医が訪れます。

伊賀市立上野総合市民病院は、基幹型の臨床研修病院の指定を受け、令和6年度から臨床研修医を募集できることになったので、当院や伊賀市の強みや良さを多くの医学生にアピールするため、初めて出展しました。



当日は臨床研修プログラムの内容をはじめ、実際に行われている医療や院内の雰囲気等について、当院の指導医と若手医師が、訪れた医学生に丁寧に説明しました。当日は、20名を超える医学生が当院のブースを訪れ、熱心に説明を聞いていました。

今後とも、基幹型臨床研修病院として「若い医師が良い医療者となるよう成長を支援する」という使命を果たせるよう努力してまいります。

高校生医師体験2023

7月28日(金)、8月4日(金)、
8月23日(水)、高校生医師体験
2023を開催しました。

この事業は、医師を目指す高校生を対象に医師体験を行って貰うことで、将来の医師への夢を支援し、将来、伊賀地域における地域医療に携わってもらえる医師の育成を目的として、初めての開催となりました。

この事業には、市内の上野高等学校理数科の生徒を中心に県内外からの申し込みがあり、全3回で合計17名の参加がありました。

体験会では、病院紹介、医学部受験についての講話や院内施設見学のほか、AED(自動体外式除細動器)を使用した一次救命措置(心肺蘇生術)体験をはじめ、シミュレーター(練習用の人形)を使用した注射器での採血体験やPICC(ピック)と呼ばれる血管カテーテルの挿入体験、豚の腸(食肉用)を使った縫合体験などを行いました。

また、三重大大学の現役医学部生による「何でも相談会」も開催し、高校生の頃の勉強時間や勉強に集中できない時の対処法、医大生として将来に向けた夢など、それぞれの悩みなどの相談に応じました。



参加者からは、「大変、貴重な経験になり、将来、良い医師になりたいという思いが強くなった。」や「また、機会があれば医大生と話がしたい。」などの感想の声がありました。

当院では、今後も機会を捉えて、将来この地域で医師や医療職員として地域医療に貢献する意志を有する若者の支援に取り組んでいきます。

脳ドックについて

脳血管疾患は、日本人の死亡原因の第4位となっています。

脳ドックとは、MRIによる画像診断と脳機能に関連する検査を行い、脳の健康状態を評価する検査です。脳の動脈硬化、無症状の脳梗塞、脳出血や脳動脈瘤、脳腫瘍などを早期に発見し、病気の予防を目指すものです。

予防医療の観点から、40歳を過ぎると人間ドックで詳しく病気の有無を調べるのが推奨されています。脳も体の一部ですから、同年齢で検査することが望ましいと考えられます。

たとえば、脳卒中は突然襲ってきます。自覚症状はほとんどありません。



日頃ふらつきや痺れ等の自覚症状がないから大丈夫と思っても、昨日まで元気だった人が突然脳疾患で倒れるというケースはよくあります。

特に高血圧や糖尿病の治療をされている方は、そのリスクが格段に高いことを自覚していただきたいと思います。

高血圧や糖尿病、高脂血症、心疾患等の既往歴がある方、ご家族が脳出血や脳梗塞を発症された方はもちろん、40歳以上で自覚症状がない方も、脳ドックの受診をお勧めします。

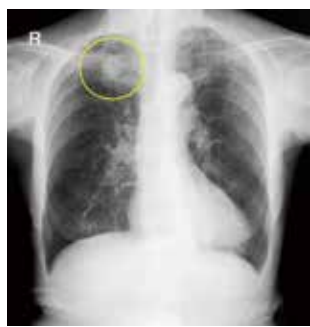
CTによる肺がんドックについて

肺がんにかかる人は年々増加しています。男性の方がかかりやすく、60歳以上ではかかる可能性が急激に増加します。また、肺がんは1998年以降日本人のがんにおける死因の第1位となっています。現在、肺がんドックは胸部エックス線写真(レントゲン写真)や喀痰細胞診検査が行われていますが、骨や心臓、横隔膜の隠れた部分にあるがんや早期の小さながんを発見することは難しいのが現状です。

世界的な研究では、喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の重喫煙者は、CTによる肺がんドックで肺がん相対死亡リスクが20%程度低下することが報告されています。

当院では80列マルチスライスCTにより、少ない放射線量で精度の高い検査を行うことができます。

喫煙する、50歳以上である、咳や痰が出るなどの症状がある、近親者に肺がんの患者さんがいる、



レントゲン写真



CT写真

仕事で煙や埃を吸うことがある、アスベストを使う仕事に従事していた、これらのうち一つでもあてはまる方や、肺がんが心配な方に当院の肺がんドックをお勧めします。

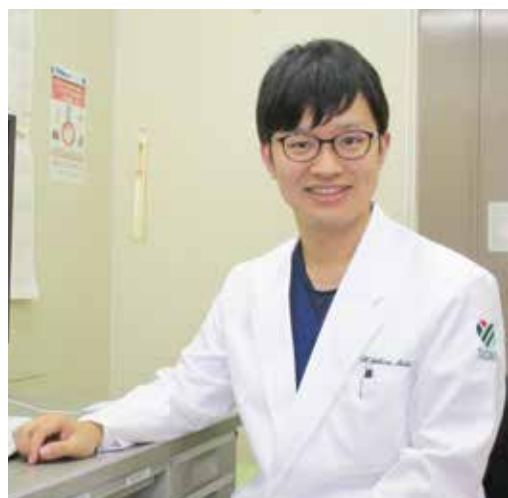
就任の ごあいさつ

いえ き ひではる
外科 家城 英治

本年10月より当院に着任しました外科の家城英治と申します。平成31年に三重大学医学部を卒業し、三重県立総合医療センターで初期研修を行いました。その後は大腸外科に興味を持ち三重大学消化管・小児外科に入局し、これまで三重県立総合医療センターや三重大学医学部附属病院で勤務をしました。

これまでの勤務病院は三次救急病院であったため、消化器疾患のみではなく重症外傷を含めた一般外科疾患の診療にも関わって参りました。当院では私は外科外来・手術に加え、救急外来対応にも携わりますので、微力ながらお役に立ちたいと思います。当院外科では鼠径ヘルニアから消化器がんまで広く診療を行っておりますので、お困りの際はいつでも気軽にご相談ください。

伊賀地域により良い医療を提供できるように尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



レスパイトケア入院のご案内



地域包括ケア病床

休息・介護困難時に
ご利用ください！

レスパイトケア入院とは

レスパイトとは、“休息・息抜き”という意味です。

在宅で介護を担っているご家族等が、日々の介護に疲れを感じ、介護力の限界を超え介護不能となることを予防するための入院をレスパイトケア入院といいます。

レスパイトケア入院の利用対象者

- 症状は安定しているが、在宅で医療機器などを利用している方
- 常時、医療管理・介護が必要な方
- 退院先がご自宅の方

利用
例

- 介護疲れで少し休みたい
- 冠婚葬祭のとき、介護をどうしよう
- 旅行に行きたい

詳しくは、
お問い合わせ
ください

お申し込み
お問合せ先

伊賀市立上野総合市民病院 地域医療連携室
対応時間 月曜日～金曜日 9:00～16:00(平日のみ)
電話 0595-41-0061